

東 魂



埼玉県立越谷東高等学校
剣道部通信
第12号 2020/8/26

『学校総合体育大会を振り返って②』

小島 麻陽

見習うところが沢山ある試合だと感じました。初めと終わりの礼儀や、試合の声の迫力、見ていても圧倒されました。この試合で1日1日の稽古がとても大切なんだと思いました。次回の大会は、自分の思うような試合をできるように日々の稽古を頑張っていきたいと思います。

小林 瞬也

今回の試合を通して、1番の課題は残心です。打ち自体は当たっていたとしても、それが有効打突にならない場面が後で動画を見返した時に多くありました。これは練習の時に、残心を意識した打ち込みが出来ていないために、今回の様な結果を招いてしまったのだと思います。それを改善するためには、まず打った後の氣勢を意識し、少し左足が跳ねているのも動画で確認できたため腰を入れて、左足が跳ねないような打ちを意識すると改善することが出来ると感じました。また、1回戦目は勝てるという浅はかな気持ちで試合に挑んでしまったのも事実であり、気持ちの甘さも裏目に出てしまったことと思います。特に団体戦では、個々の意識よりも団体での意識の方が重要視されるため、今回の試合ではその意識が欠如していたと感じました。これからの課題としては、まずチーム全体で勝つという意識を充実させること、また個人個人の足りない部分を把握し、それを改善するための稽古方法を確立させることが次の試合に繋がり、今回の試合が無意味にならないと思います。部長として、今回の反省点を部員皆で話し合い、まとめることで更なる技術の向上や団結力の向上にも繋がると思うため、実践していきます。今後の大会では、いい成績が残せるように、今回の反省をしっかりと生かした上で、練習に取り組んで行きたいと思います。

植竹 未来翔

今回の大会は今までよりもポジションが変わったっていうのもあると思いますが肩の力を抜いてやることができた気がします。反省点としては手元を上げていってしまって打たれた部分があったのでそこは今後の課題にして稽古に励もうと思いますチームとしても、今後どのポジションに入るかはわからないけれど、自分のとこで取らないといけない場面があるとおもうので誰がどのポジションの相手でも通用するように頑張りたいと思います

